

経営比較分析表（令和2年度決算）

佐賀県 玄海町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	8.56	100.00	3,520

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,406	35.92	150.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
458	0.21	2,180.95

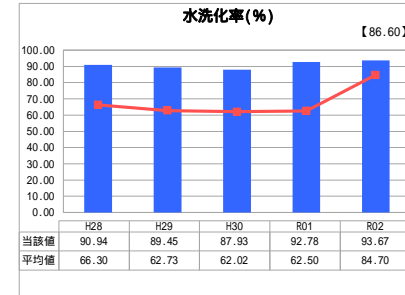
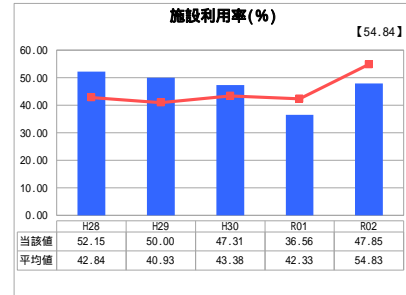
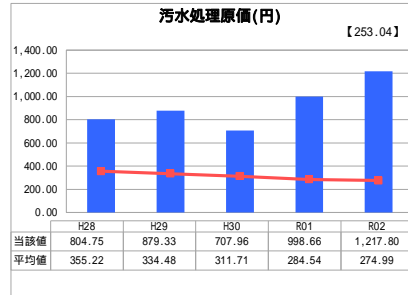
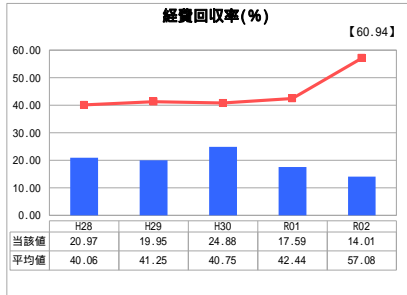
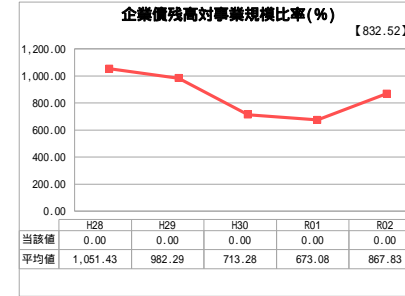
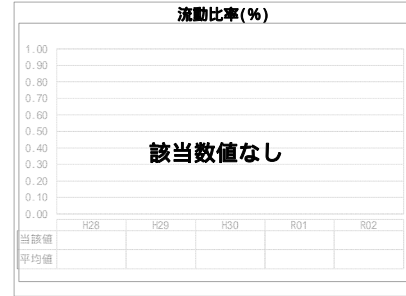
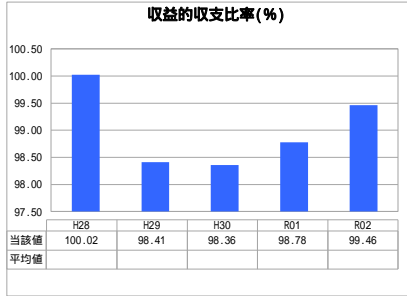
グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

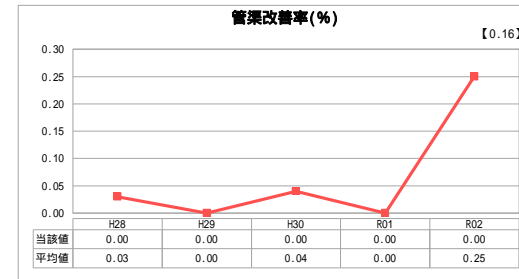
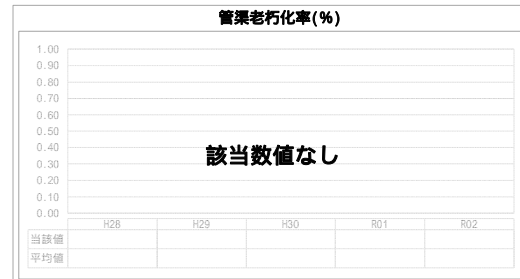
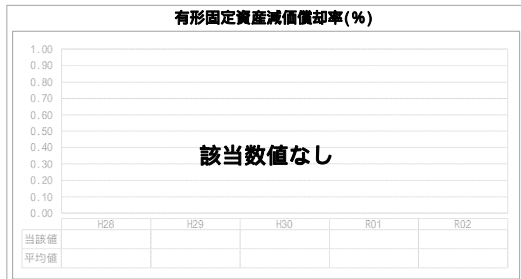
○ 類似団体平均値(平均値)

【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率が、平均値57.08%に対し、14.01%と大きく下回っており、使用料のみでは経営が全く成り立っていない状況となっている。

また、汚水処理原価は、平均値274.99円に対し、1,217.8円と平均値を大きく上回っており、有収水量に対し、維持費が過大に発生している現状である。

このため、令和5年度からの企業会計移行にあわせ、料金も見直す予定だが、増額は住民負担を強いることとなるため、料金の賦課方式（現在は人頭制）も見直す予定である。

現状としては、引き続き維持費を低減させるべく、計画的な修繕を行っている。

2. 老朽化の状況について

座川内浄化センターの併用開始が平成17年度、小加倉浄化センターの併用開始が平成18年度となっており、約17年経過している。

このため、計画に基づき修繕は実施しているが、間に合わせ、施設のシステムエラーなど多く発生している状況である。

今後も計画的に修繕を実施し、大規模な修繕を未然に防止することで、少しでも費用負担を減らすよう努めている。

全体総括

人口減や施設の老朽化が進む中、今後も使用料のみでの経営は不可能である。

このため、使用料の改定、計画的な修繕を進め、広域化・共同化に向けても検討を進めているところである。